



最新お笑いDVDと芸人情報をギュッとご紹介。

SHOW COM

オフィシャルサイト連動
フリーペーパー

オフィシャルサイトでは、
各コーナーの拡大版を更新！
載せきれなかった情報が満載です！

バカリズム本業の最新傑作



『バカリズムライブ「類」』

●今回のタイトル「類」はどこから思いついたんですか？
毎回タイトルをつけるときは“どうにでもなるような言葉”を基準に探してるんですが、「〇〇の類」ってどうにでも言えるような言葉はないですか。だからちょっといいんじゃないかと。

●コントを作る作業は順調でしたか？
ドラマの脚本がほぼ同時進行だったので、今回も大変でしたね。ほんとはもっとライブがやりたいです。年に2回くらい。やんなきゃと思ってたんです、自分のために。考える習慣とか、そういうクセを常につけてかないと、エンジンがかりづらくなるので。逆にライブのあとにはすごく言葉が出やすかったりしますね。

●何から取り掛かったんですか？
いつも最初にプロローグを作るんですが、今回すごく手こずりました。今まではスルスルっと1日2日で書けたものが、なんかすごい時間かかりました。テーマがテーマだけに。

●逆にパッとできたネタは？
「友達の類」は一晩でできました。オープニングVTR明けの一本目に見るような、わりと入りやすいネタをとって。親友に内緒にしていることを告白するというフォーマットが先にできて、それで何を告白したらバカバカしいかなと。わざわざ言うほどのことでもないことを考えました。

●読者にメッセージをお願いします。
とにかく一番本業中の本業なので、ぜひ見てほしいですね。うちのほんの本業です、これが(笑)。こういうことを普段やっていますってことです。



2016/11/23発売 ANSB-55228 ¥3,800+税

今が旬！怒りの時事ネタ漫才



『ウエストランド 第一回単独ライブ「GRIN!」』

●初単独ライブの初日を迎えたときのお気持ちは？
井口：責任感です。ほかのライブだと、僕らが失敗したとしてもほかの芸人さんがいますが、僕らしか出てませんから。河本：そうですね。なんなら普段のライブのお客さんはほかの芸人さんを見に来ますよね。

井口：開演前は一番嫌でした。これまででないタイプの緊張でした。

●どのような内容にするかなど、話し合っていましたか？
河本：あんまり2人で話してはないかもしれんです。井口：僕が全部作ってるので。

河本：僕あんまり関わってないんです。井口：もろもろの打ち合わせは僕とマネージャーさんがやって。

●VTRは河本さんの力作ですね。
河本：VTRは楽しかったですね。井口：いやいや、ほほほなんにもやってないでしょ。

河本：焼印も意外と大変なんです。井口：いや、職人的大変さはもうお笑い要素ではないよ。あんなVTRありますか？ あれは単独ライブ史上一番つまらないVTRですからね。

●DVDのどこを見て欲しいですか？
河本：ネタの順番が秀逸だと思いました。井口：僕の怒りの時事ネタ、不満の時事ネタなので、あと何年かしたらできないネタばかりになります。なので、今このDVDを買ってぜひ早い時期に見て欲しいですね。



2016/11/23発売 ANSB-55229 ¥3,000+税

インタビュアーバージョンはコンテンツフリーHPへ



『日本エレキテル連合単独公演 「電気社〜掛けまくも畏き電荷の大前〜」』
今年、東京・大阪にて計10公演開催された最新単独ライブを収録。「神」をテーマに作られた8本のネタは、どれも見ないパチが当たる逸品ばかりです！ 新たな“神ソング”J-GODS「IHARAETAMAE KIYOMETAMAE」～編編～は必聴。この曲でお笑い魂を清めてみては。
2016/12/21発売 ANSB-55230 ¥3,000+税



『日本エレキテル連合 「皆中」』
単独ライブDVDと同日発売のこちらは、8本のコントを撮り下ろし。弓道の用語で“4本すべての矢が的を射ること”という意味の「皆中」。エレキテルから放たれる8本の矢はすべて、見ている人たちの心の的を射ることができるのか。彼女たちが一射絶命の思いで作ったコントの数々をぜひ御覧ください。
2016/12/21発売 ANSB-55231 ¥3,000+税

お笑い事務所通信

OWARAI jimusyoto TSUSHIN

詳しくは各社オフィシャルサイトにて確認を。

ワタナベエンターテインメント

ワタナベエンターテインメントお笑いライブ「WEL」「WEL NEXT」毎月開催！
WELとは…「人気者大集合！ネタ・企画満載のスペシャルライブ」
WEL NEXTとは…「次世代を担う若手芸人がしのぎを削る熱い舞台」
会場：東京・表参道 GROUND
12月は11日(日)に開催。来年1月以降の日は「ワタナベお笑いINFO」にて確認を。

<11月「WEL NEXT」結果>
1位 ゴールデンエイジ
2位 八田荘
3位 四千頭身



ゴールデンエイジ

タイタン

全国 TOHO シネマズ映画館 13 館にて同時生中継！
『爆笑問題 with タイタンシネマライブ』
今年最後の「タイタンシネマライブ」は12月9日(金)19時半スタート！
出演者は爆笑問題、長井秀和、ゆりありく、瞬間メタル、日本エレキテル連合、ウエストランド、ネコニズ、脳みぞ夫、ミヤシタガク。ゲストはBOOMER&プリンプリン、パペットマペット、エレキコミック、タイムマシン3号ほか。本番直前の5分間は、本編に登場しないタイタン若手芸人がネタを披露する「このあとシネマライブ」も上映。来場者には「シネマライブ限定 オリジナルステッカー」(非売品)をプレゼントします！
詳細はタイタンオフィシャルサイトにて。

7.0777ショウ人カ舎

12月の「バカ走走！」はミニホール新宿Fuにて1日(木)～6日(火)に芸人たちが渾身のネタをたっぷり披露！16日(金)～18日(日)に新宿パティオで開催される「Spark!」では、年末恒例!? カバーネタライブ「紅白ジャップルネタ合戦」や、リクエストネタ、芸人&マネージャー一斉アンケート調査など、4編構成のSPライブ「人カアワード2016」を行います！
『ラバーガール企画ライブ「第9回新ネタ会議」』
日時：12月14日(水)開演19時
会場：下北沢駅前劇場
料金：前売 2500円 / 当日 3000円
『東京03寄席』
日時：12月16日(金)開演19時
会場：下北沢・駅前劇場
料金：3500円

マセキ芸能社

12/8「R-1ぐらんぷり2017合同トライアウト」では普段コンビなどで活動している面々がピンネタに挑戦！12/23はルシファー吉岡がオール新ネタライブ「PROMOTION」。見事即売した12/13のエル・カブキ単独ライブ「年刊実話」は当日券を若干数販売予定。東京で大好評だった与座よしあき生誕40周年&芸歴だいたい20周年ライブ「與ん寿」が来年1/27に沖縄へ。12/9「パンキッシュガーデンアワード2017」は「パンキッシュガーデン」で起きたあんなことやこんなことを勝手に表彰する授賞式ライブ。果たしてモグライダーは2連覇なのか。『Maseki Geinin Collection』はおかげさまで2017年も継続が決定！次回は1/24に開催します。どうぞこれからもご慕願に。

サンミュージック7.0777ショウ

『サンミュージックGETライブ』開催中！
事務所ライブ「GETライブ」は毎月第2火・水に開催。12月は13(火)新宿パティオ!!&14日(水)新宿パティオにて。今年最後の14日の企画コーナーではサンミュージック秘密兵器のアイドルユニットが登場予定！
若手ライブ「プレGETシアター」も月1で開催中。12月は8日(木)に新大久保エンタメカフェR&Bバーです！
『アメリカンコミックス初単独トークライブ「ソウカン!!」』
日時：12月10日(土) 開演13時
会場：神奈川・ラジオ日本本社 カフェラジアンヌ
料金：前売 1500円 当日 2000円 (ドリンク代別途500円)

太田7.0777ショウ

太田プロNo.1芸人は？
太田プロライブ「月笑」の年間ランキング争いは、タイムマシン3号が仕事のため11月の月笑を欠場。アルコ&ピースが1位となり逆転で年間ポイント1位となりました！
これにより12月12日(月)に新宿明治安田生命ホールで開催される「月笑クイックスシリーズ」は、2位のタイムマシン3号と3位のトップリードがセミファイナルで戦い、その勝者が1位のアルコ&ピースとのファイナルで競います。No.1芸人の栄冠はだれのものか？



松竹芸能

2017年の新宿角座もお楽しみに!!
1月9日(月・祝)は『相撲好きトークライブ「OH! 相撲ナイト」～初場所～』を開催。14日(土)・15日(日)は、第二回紺野ふるま単独ライブ「お願い… たまたまぶらぶらしていた事にして」。チ○コ謎かけ以外にも紺野ふるまの魅力が詰まった作品をお見せします。27日(金)は、セバスチャン急須の初単独ライブ「グリーンベルト」！
『松竹芸能タレントスクール』
2017年4月生募集
1年間笑いについてじっくり学んで、お笑いを観る人から『魅せる』人へ変わるチャンス！興味のある方はぜひご応募を。詳しくは松竹芸能タレントスクールHPへ。

俺たちは漫才が好きだ！～エルシャラカーニとマシンガンズの場合～

昨年5年ぶりに復活を遂げた「M-1グランプリ」。出場資格はコンビ結成15年以内となり、実力を溜め込んできた総勢3000組以上の漫才師たちがしのぎを削りました。今年も新たな漫才王者が誕生する12月。出場資格がなく悔しい思いをしつつも、漫才愛を叫んでやまない2組の漫才師たちに、漫才の魅力について語っていただきました。



一漫才を始めたきっかけ

西堀：コンビ組んだとき、滝沢が、「俺は漫才だったら組んでもいい」と言ったんだよ。
清和・しろう：えー!!
滝沢：そうそう。俺、爆笑問題さんに憧れてたから。太田さんになりたかったの。時事ネタやってね。
清和：なんか思い返せばそんな感じあったかも。
西堀：滝沢はピンもやってたから、「並行してやるならいいよ」って。結構上からな感じで(笑)。
清和：へー！知らなかった。
しろう：俺らは、清和さんが漫才好きだから。
清和：そう。僕はもう幼少の頃から花月だなんだ見て育ってるから、どうしても漫才が好きなんだけど、最初2、3年コントやってて。
滝沢：えっ!?

清和：しろうさんが漫才できないから、じゃあまずコントからって言う考えでやってた。漫才はそのまの人間性が出なきゃダメだから。
しろう：だから僕は学校に入ってたわけですね。「清和漫才学校」(笑)。

一漫才の面白いところ

西堀：漫才の面白いところはあれじゃないですか。すごくウケると余裕が出てきて、何言ってもウケるっていうゾーンに入るんだよね。
滝沢：あるねえ。
清和：そんなにコントはやってないけど、多分、漫才のほうが気持ちいいんじゃないかな。「俺が」ウケてる」わけだから。
西堀：漫才は西堀と滝沢がウケてるんだけど、コントはそのキャラがウケてるんだよね。
清和：だから漫才のほうが気持ちいいはず、多分ね。トップリードに聞いたらまた違う意見かもしれないけど(笑)。
一「M-1グランプリ」エピソード
滝沢：僕はね、その頃すげーお笑いやってたんですよ、一生懸命。青春みたいな。ほんとに優勝するつもりでネタ作ってましたからね。
西堀：敗者復活は本当に勝とうとしてましたもん。
清和：へー!
しろう：僕らと違いますね。行けると思ってたんですけど。
西堀：あと敗者復活でスターが生まれる瞬間を横で見るとすごい。名前を呼ばれた瞬間にスターになるって、こんなすここないですよ。

一やっぱり漫才が好き！

滝沢：客としゃべれるっていうのはやっぱりでかい。西堀：いやでも、カッコイイにつけるでしょ。
清和：おお！俺もそう思う。
西堀：漫才やってるのカッコよくないですか。2人で、ただの人が出てきて、小道具を使わないで、カッコイイですよ。
清和：そう。何なんテーブルと椅子って。
滝沢：やめなさいよ(笑)。
しろう：でも何がすごいってやっぱりマイクがすごいんですよ。マイク1本というこだけは変わらない。
滝沢：どんな時代でもね。



エルシャラカーニ (サンミュージック) (左) 清和 (右) しろう
＜漫才写真＞11/15 [K-PRO]ターズ2016)で2006年のネタを披露するエルシャラカーニ



マシンガンズ (太田プロダクション) (左) 滝沢 (右) 西堀
＜漫才写真＞11/15 [K-PRO]ターズ2016)で2008年のネタを披露するマシンガンズ

対談全文は12月中旬ごろコンテンツリーグHPに掲載！掲載日はコンテンツリーグ公式Twitterにてお知らせ。

「芸人DVD感想文」その3

芸人の才能はネタだけじゃない！文才ある芸人もたくさんいるんです。そこで、このコーナーでは芸人が芸人のDVD感想文を書きます！

今月のDVD

マシンガンズ『怒』

from『必笑!〜お笑いアランが選んだネタベスト〜』



芸歴9年目、解散を考えていたマシンガンズの運命を変えた「怒り漫才」。その後2008年に発売されたのがDVD『怒』です。こちらの作品は、DMM動画、楽天SHOWTIME、Video Marketで配信中です！

<書く人>



新居カウボーイ石沢 (太田プロダクション)

昨年クイズ番組で優勝し、お笑い界の新たな「クイズ王」として注目を浴びている石沢。そんな石沢が選んだのは先輩漫才師のDVD。相方エピソードや時事ネタをテンポよく盛り込んだ文章は、彼の頭脳明晰ぶりがうかがえる名作です！

マシンガンズが出しているDVD「怒」を観た。それにしても怒りまくっている。よくまあこんなに怒る事や悪口を言う事があるものだ。ネタをやる事によって日常のストレスを発散しているんだらう。自分なんか日常で感じるストレス、特に相方かねきよに対して、ネタ覚えの悪さ、ネタを忘れる、頭が汗だくになっている所をツッコまなくてはいけないなど、ストレスが溜まる一方なので、ネタで発散できるのはうらやましいと思える。そもそもマシンガンズというコンビはお互い同じ考え方を持っているのが強みで、かねきよ曰く「どちらか一人にイジられた後、その場になかったもう一人が同じイジリ方をしてくるから、同じ返しを2回しなきゃいけない。2人揃った時は返す間もなくイジリ続けるから大変だ。」と。そう、2人揃ったら無敵。かねきよはイジられ過ぎて「マシンガンズとは共演NGだ!!」と叫びだしたほどだ。

このDVDが出たのが約10年前なのに当時とまったく変わらず笑えるのは、怒りというのが普遍的なものだからだ。この怒り、悪口のオンパレード、最近どこかで見た覚えがある。それはアメリカ合衆国45代大統領に選出が決まったドナルド・トランプが演説中にやっていた事だ。悪口を言っているのも何となく憎めない、好きな人と嫌いな人が極端に分かれている。もしかしたらマシンガンズとトランプは似ているのではないか？いや、マシンガンズは日本のトランプなのである!!怒りというものは、歴史を振り返れば時代を動かしてきたものである。ルイ16世が治めていたフランスでは、民衆の怒りによってフランス革命が起きた。マシンガンズには怒り続けてもらって、お笑い界の時代を動かしてもらいたいものである。あと、このDVDの特典映像が下らな過ぎて、笑い死にしそうだったので、そちらも。バカバカしさの見本をみているみたいだ。

マシンガンズ最新情報

太田プロライブ「月笑」などライブ多数出演。ラジオ日本「ネガポジ」(毎週土曜 26:30~)放送中。

芸人なんでも掲示板

TKO木下のブランドが大好評



自他共に認めるオシャレ芸人TKO木下が今年8月に立ち上げた、体が大きい人向けのアパレルブランド「BUCCA44」が大好評！多くのタレントが愛用中。恵比寿にショップもありしますのでぜひお立ち寄り下さい！(松竹芸能)

田島の動画再生数が急上昇中!



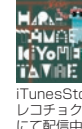
「ピコ太郎」のYou Tubeが話題の芸人動画ですが、実はアイデンティティ田島の動画再生数も急上昇中！声優・野沢雅子さんのものまね動画3本をアップしたところ、合計で87万回越え!(11/22時点)必見です!!(太田プロダクション)

阿諏訪のソロ初レシピ本発売



「あのニュースで得する人損する人」(日本テレビ系)にて、どんな料理でも食べただけで味を再現する「サイゲン大介」として人気のうしろシティ阿諏訪。彼が半年半飲食店で修行した成果がこの本にはたっぷり詰まっています。レシピ数は50以上!(松竹芸能)

J-GODSデジタル配信開始



日本エレクトレキ連合の単独公演「電氣ノ社」にて、誕生した新ユニット「J-GODS」によるノリノリでゴリゴリのラブ「HARAETAMAE KIYOMETAMAE」。Youtube「電氣バラレル」ではMVを見ることが出来ます!(タイタン)

コンテンツリーグに関連する芸人たちを、さまざまなテーマで読者投票ランキング!

CLなんでもランキング! テーマ「ロマンチックな芸人は?」

1位 うしろシティ阿諏訪 (松竹芸能)

<理由> キャンプとか得意な料理で、ロマンチックにサブライズしてくれそうだから!(mgm・20代学生)

2位 東京03・飯塚 (プロダクション力会)

<理由> 奥さんである「まゆみっくす」さんに、ディズニーランドでベンダント渡して「結婚してください」と言ったエピソードが有るから。(ルート03・30代会社員)

3位 三四郎・相田 (マゼキ芸能社)

<理由> 「雨の日に室内で聞く雨の音が好きだ」と公言していた。(えび・20代学生)

“先天性恋愛依存王子さま症候群”のアントワネット山口と、「意識高い系IT社長」瀬良明正キャラが人気のアルコ&ピース平子が4位!

今回のランキングテーマは「家庭教師になってほしい芸人は?」ランキングしてほしいテーマを募集します!

みなさんがランキングを知りたいテーマを教えてください!応募方法は公式サイトにて。

【第16回】神宮前四丁目視聴覚室 管家しのぶ

うしろシティ 単独ライブ「うれしい人間」

とにかく「病院」を見ていただきたい。病院の待合室で、事故に遭って手術を受けている友達の無事を祈っている阿諏訪の元に、同じグループの仲間である金子が連絡を受けて飛び込んでくるのだが、その手には某有名コーヒー店のカップが握られていた……ここから話は「友達が大変なときに何をやっているんだ!」となるわけだが、金子の方にも言い分があり、後半ではその秘められた感情がわっと吹き出してしまふ。確かな演技力と揺るぎない大衆性を兼ね備えた技巧派コンビとしての印象が強いうしろシティが、これほど人の心を揺さぶるコントを生み出せるとは。哀愁を伴うオチも見事。彼らに対する見方を少しだけ変えさせられた、驚異の傑作である。



2013/11/27発売 ANSB-55152 ¥2,857+税

管家しのぶ 1985年生まれ 香川県在住のお笑いDVDコレクター Blog <http://susagya03.hatenablog.jp/> Twitter [@Susaga03](https://twitter.com/Susaga03)

お読みいただきありがとうございます! 次回は2月1日を予定しております。コンテンツリーグではお笑いを愛する読者の方々から御意見・ご要望をお待ちしております。info@contentsleague.jp までメールをお寄せください。

